

創

—第73回—

国際観光温泉 文化都市として

ロシアのウクライナ侵攻が続いています。

最近では、一般市民への虐殺疑惑もあり、連日の報道を見るのが辛いです。しかし、目を背けるのではなく、具体的に自分のできる行動を起こす事が事態打開に繋がると信じます。

そこで別府市は、いち早くウクライナ避難民の受け入れ表明をしました。なぜ別府が？と疑問に感じるかもしれませんが、別府は「国際観光温泉文化都市」を謳っています。世界90以上の国・地域の留学生や外国籍の方が住む「国際都市」として常に世界に目を向け、意識してきました。

また、「観光都市」として年間800万人以上の国内外からの観光客を迎え、それを産業として繁栄してきました



別府市長
長野 恭紘

し、そのようなまちだからこそ「文化都市」として多様な文化・価値を持つ人々を受け入れ、「温泉都市」としてそれら全てを混浴、つまり混ぜ合わせて発展してきました。ですから、今回の避難民の受け入れは、別府として当然の責務だと感じています。

言語の壁、慣れない場所での生活など、これからも課題はあると思いますが、過酷な状況から別府を頼り逃れてきた方々を温かく迎え、可能な限りの生活支援をしてまいります。

皆様にも、ご寄付や言語ボランティアなどのご支援を何卒よろしくお願い致します。
(4月9日執筆)



フォトべっぷ



春の訪れ—4月1日、温泉の神々に春を告げる扇山火まつりが行われました。約3時間かけて炎が別府の夜空を照らす幻想的な光景が広がりました。また、4月1日～5月1日の日程で第108回別府八湯温泉まつりを開催しています。



新図書館等整備事業—「エアカフェ®」を3月26日開催しました。言語以外のコミュニケーションで対話を行い、様々な壁を取り除いて違いに気づき、互いを認め合うことを体験し、新しい図書館のあり方について参加者と一緒に考えました。



楽しい給食—3月25日、市内の園児や小中学生から募った別府市学校給食マスコットキャラクターの表彰式を行いました。最優秀賞のキャラクターは令和5年9月に供用を開始する別府市学校給食共同調理場で使用する食器にプリントする予定です。



私たちが今できること—4月8日、ウクライナ避難民受入れの支援を行うNPO法人「Beautiful World」代表のヤーナさんとご主人が市長と面会しました。別府市では16日から3世帯8人の避難民を受け入れ、今後さらに10人程度を受け入れる予定です。